

経営比較分析表（令和6年度決算）

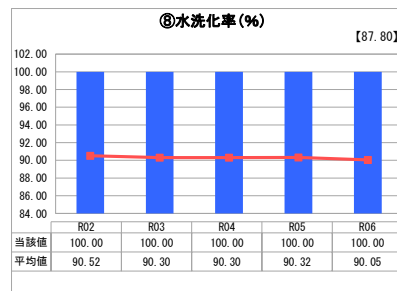
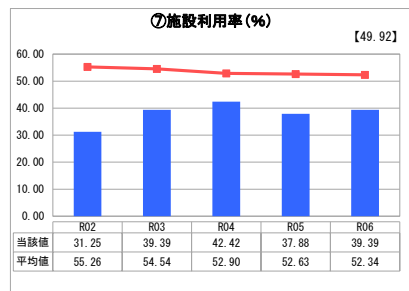
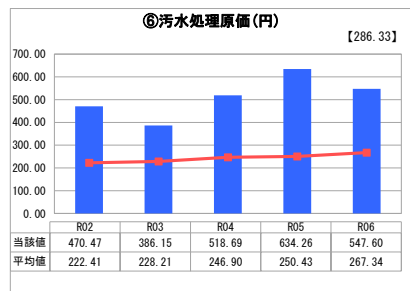
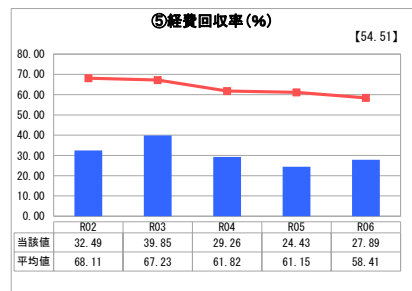
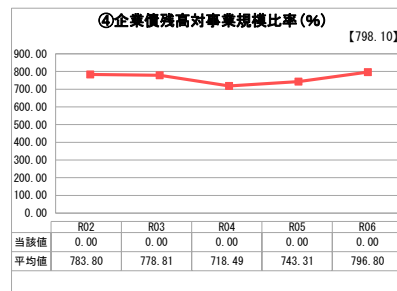
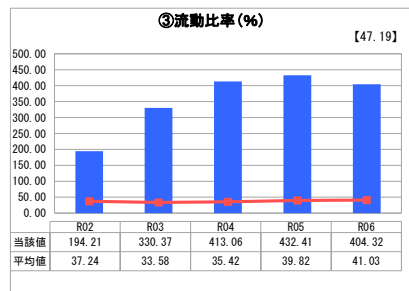
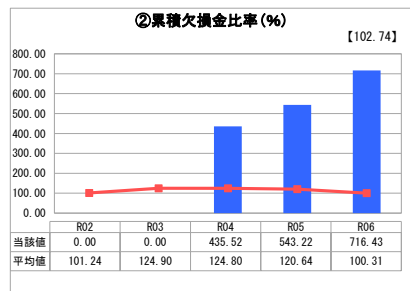
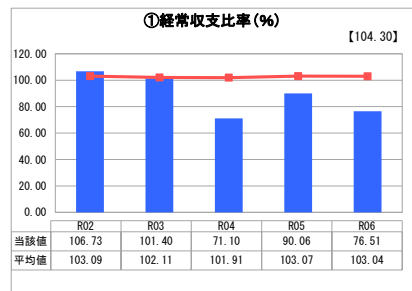
北海道 芽室町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	44.53	0.72	106.83	3,037

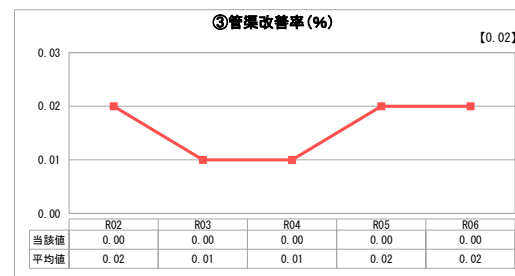
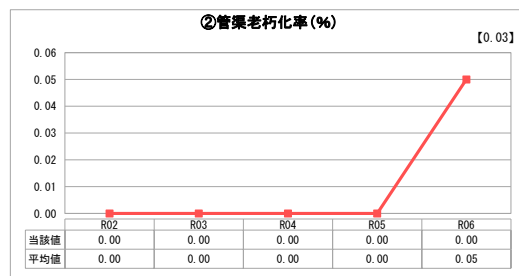
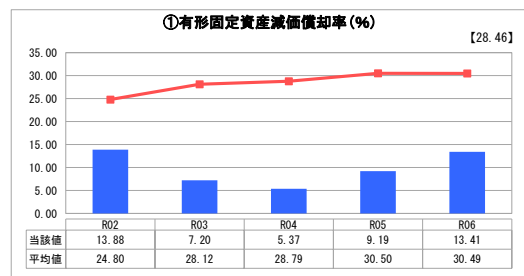
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
17,773	513.76	34.59
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
127	0.15	846.67

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は前年度より低下し、依然として100%を大きく下回っている。施設更新に伴う減価償却費の負担等により、累積欠損金比率は増加傾向にある。
また、経費回収率は類似団体平均を大きく下回っており、一般会計からの繰入金により補填している状況であることから、適正な料金水準への改定検討が必要な状況にある。
企業債残高対事業規模比率については、企業債償還金を一般会計が負担しているため、0%となっている。

2. 老朽化の状況について

集落排水施設については、令和3年度より改築した施設が稼働している。
管渠についてはこれまで更新していないが、将来的には更新工事が必要である。

全体総括

将来的には管渠等の老朽化により更新費用の増加が見込まれるが、今後の事業拡大はなく、使用者増加を見込めないことから、より厳しい経営状況となる。
令和8年度に予定している使用料改定検討により、持続可能な経営に向けた料金水準について検討を進める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。